

令和 6 年度（2024年度）スポーツ振興関連事業の概要 （スポーツ振興課）

1	○スポーツをする・みる・ささえる促進事業費				
概要：北海道スポーツ推進条例を契機として、スポーツに参加する多様な主体のスポーツの「する」「みる」「ささえる」を促進するための各種施策を展開する。					
事業内容					
			(単位：千円)		
区 分			予算額	R5（2023）実績	
障がい者スポーツの推進	障がい者と健常者が参加するパラ競技体験会及びセミナー開催（渡島1回）		2,957	運動会の実施 参加者数（20企業・団体137名）	
	障がい者スポーツ団体への補助		1,000	補助団体：10団体	
スポーツに親しむ環境整備	総合型地域スポーツクラブの設置促進に関する取組に補助		2,000	（公財）北海道スポーツ協会	
	既存総合型地域スポーツクラブの情報交換会の開催		115	情報交換会 1回	
	市町村が実施する指導者向けスポーツ教室への指導者派遣		472	指導者派遣 7回	
スポーツ観戦等に係る気運醸成	本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎えた体験型教室の開催 保護者を対象とした講習会の開催やハンドブックの配布		2,695	体験型教室 8回 参加者数 444名	
セカンドキャリアの形成促進	引退選手等の活躍促進創出に向けたセミナーの開催		388		
官民連携組織による協働の推進	障がいの有無にかかわらずスポーツに親しむ体験機会として「ポッチャ」の大会を開催		2,862	ポッチャ大会の開催 参加者数 35チーム159名	
発掘・育成	有望選手発掘・育成事業 小中学生を対象に有望選手を発掘・育成（カリンガ） ・セレクションの開催 ・育成プログラムの実施 （地域プログラム、フィジカルプログラム、合宿）		6,165	・セレクションの実施 9名 ・育成プログラム 地域プログラム 週3回 フィジカルプログラム 月3回 合宿 延べ5回	
担当課	スポーツ振興課	R 6（2024）予算額	18,654千円	R 5（2023）予算額	22,691千円

2	○北海道パラスポーツ連携促進事業費				
概要： 健常者スポーツと障がい者スポーツの連携を促進、障がい者スポーツの裾野拡大と競技力向上に取り組むとともに、地域への定着を目指す。					
事業内容 (単位：千円)					
区 分		内 容		予算額	R5(2023)実績
パラスリート 発掘プロジェクト (toto助成金)		・実行委員会（年2回） ・タレントスカウティング(特別支援学校等で発掘活動) ・測定会・体験会の開催（1回） ・発掘選手を対象にセミナー開催（年2回）		4,603	・パラスポーツ体験会の開催 5回 ・パラスポーツコーディネーターの配置 ・道内の障がい者スポーツ団体・チーム等を調査し、道HPで紹介
障がい者スポーツの実施環境 の整備等に向けたモデル事業 (スポーツ庁 委託事業)		・実行委員会（年2回） ・地域人材（指導者・ボランティア）の育成 ・冬季障がい者スポーツイベントの開催		4,500	・冬季障がい者スポーツイベントの開催 2回
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	9,103 千円	R 5 (2023) 予算額	8,227 千円

3	○障がい者スポーツ振興費				
概要： 障がい者の体力維持や残存能力の向上を図り、スポーツ大会等を通じて道民の障がい者に対する理解を深めるため、大会の開催経費、指導者養成や普及促進事業等に対し助成を行う。((公財)北海道障がい者スポーツ協会補助)					
事業内容				(単位：千円)	
区 分	事 業 名	概 要 等	予算額	R5 (2023)実績	
大会開催事業	北海道障がい者スポーツ大会	・ 競 技：6競技（陸上競技、サッカー、ソフトボール、フットソフトボール、バスケットボール、車いすバスケットボール）	9,850	開催地：釧路市他 参加選手：173名 陸上競技、車いすバスケットボール以外は競技成立に必要なチーム数のエントリーがなかったため開催中止	
	北海道障がい者冬季スポーツ大会	・ 競 技：2競技（大回転、距離）	1,557	開催地：小樽市 参加選手：51名	
	はまなす車いすマラソン	・ 競 技：2競技（ハーフマラソン、ショートレース（1km、2km））	15,465	開催地：札幌市 参加選手：104名	
障がい者スポーツ指導者養成事業	障がい者スポーツ指導員養成講習	・ 地域で障がい者スポーツの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成	396	受講者数20名	
	競技指導者研修事業	・ 障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し競技規則、実技講習会を実施	4,516	受講者数47名	
障がい者スポーツ普及促進事業	知的障がい者スポーツ教室	・ スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	361	延べ195名参加	
	身体障がい者スポーツ教室	・ スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	293		
	精神障がい者スポーツ教室	・ スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	368		
障がい者スポーツ普及振興事業		・ 障がい者スポーツに関する調査・研究、地方の障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興	586	障がい者スポーツの普及促進	
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	33,392千円	R 5 (2023) 予算額	33,392千円

4	○全国障害者スポーツ大会派遣事業費				
概要：(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う全国障害者スポーツ大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金					
補助内容：北海道選手団の出場に最低限必要な実費経費（交通費・宿泊費等）を(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。					
事業内容					
(単位：千円)					
区 分		内 容		R5(2023)実績	
大 会 名 称		第23回全国障害者スポーツ大会		特別全国障害者スポーツ大会	
催 進 地		佐賀県		鹿児島県	
開 催 期 間		令和6年(2024年)10月26日～28日（3日間）		令和5年10月28日～30日（3日間）	
競 技 種 目		14競技（個人競技）陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、 （団体競技）フライングディスク、ボウリング、ボッチャ バスケットボール、車いすバスケットボール、 ソフトボール、グランドソフトボール、 フットソフトボール、バレーボール、サッカー		北海道選手団： 選手74名、スタッフ40名派遣	
担当課		スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	35,712 千円	R 5 (2023) 予算額
					33,847 千円

5	○スポーツ競技力向上推進費補助金						
概要：（公財）北海道スポーツ協会が実施する選手強化事業等に要する経費に対する補助 事業内容（単位：千円）							
事業名			事業内容	実施規模 R6(2024)	予算額	R5(2023)実績	
指定指導者研修会			・実技を中心とした系統的指導法 ・技術の習得	50種目 130人	2,322	参加者 75人	
選手強化事業	ジュニア強化合宿	道内合宿	・1年を通じて実施される道内の合宿	50種目 1,150人	61,759	41種目 延べ178回 参加者 4,352人	
		道外合宿	・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	44種目 330人		23種目 延べ44回 参加者 574人	
	有望選手活動支援		・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり20万円		対象2人	
競技団体育成事業			・競技力向上推進委員会	2回	125	3回	
スポーツ医・科学トータルサポート事業			・合宿地・国体会場等での医科学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営（調査研究）	3種目	7,689	4種目 スタッフ11人	
担当課		スポーツ振興課		R6(2024) 予算額	71,895 千円	R5(2023) 予算額	65,031 千円

6	○ジュニアスポーツアスリート強化育成事業費				
概要：（公財）北海道スポーツ協会が実施するジュニア選手の強化合宿に要する経費に対する補助 事業内容（単位：千円）					
事業名		事業内容	実施規模 R6(2024)	予算額	R5(2023)実績
夏季ジュニアスポーツアスリート強化育成		将来トップ選手として活躍できる可能性のある選手を対象に、各競技団体が行う強化合宿に要する経費を支援	10種目	12,451	(道内合宿)7種目 参加者 496人 (道外合宿)7種目 参加者 147人
冬季ジュニアスポーツアスリート強化育成			7種目	12,175	(道内合宿)11種目 参加者1,237人 (道外合宿)5種目 参加者 47人
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	24,626 千円	R 5 (2023) 予算額	24,626 千円

7	○スポーツ団体活動費補助金				
概要：（公財）北海道スポーツ協会が行う本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、事業に補助する。 事業内容（単位：千円）					
事業名		内 容		予算額	R5(2023)実績
国民体育大会運営事業		国体予選会事業の一部補助 41団体		606	北海道予選会 40競技団体
競技団体育成事業		競技団体運営活動費助成 14団体		410	助成12団体
スポーツ指導員 養成事業		スポーツ指導者ブロック研究会 3会場		2,318	149人参加
スポーツ少年団 育成事業		スポーツ少年団大会 1会場 スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場		800	29名参加 7名参加
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	4,134 千円	R 5 (2023) 予算額	4,134 千円

8	○北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費				
概要	要：H22(2010).10月に北海道とソウル特別市が友好交流協定を締結したことを契機として、スポーツ分野の観点からソウル国際マラソンと北海道マラソンとの交流を図り、両地域の友好親善を深める。				
1	事業概要 ○両地域における最大規模のマラソン大会のランナーの交流を図り、それぞれの大会をPRすることにより、一般市民ランナーの交流拡大をめざし、両地域の友好交流の促進とスポーツ振興を図る。				
2	事業内容 (北海道) 選手受け入れ（ソウル国際マラソン出場者2名招待） ソウル国際マラソン大会へ北海道知事賞を出賞 (ソウル) 選手受派遣（2名程度派遣） ソウル特別市長賞出賞				
※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2、R3、R4は中止					
担当課	スポーツ振興課	R6(2024) 予算額	250 千円	R5(2023) 予算額	250 千円

9	○国民スポーツ大会等派遣費補助金				
概要：（公財）北海道スポーツ協会が行う国民体育大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金 補助内容：北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費（交通費・宿泊費・用具輸送費）を（公財）北海道スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。					
事業概要 令和6年度（2024年度）派遣者数 1,058人（役員16名、選手・監督1,042人）					
区 分		令和5年(2023年)		令和6年(2024年)	
ブロック大会		各競技による		各競技による	
本大会		鹿児島県（R5.9～10）		佐賀県（R6.10）	
冬季	スケート	北海道（R6.1～2）		群馬県、岡山県（R7.1～2）	
	アイスホッケー スキー	山形県（R6.2）		秋田県（R7.2）	
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	156,474千円	R 5 (2023) 予算額	145,925千円

10	○札幌ドーム整備費補助金				
概要：札幌市が建設した全天候型多目的施設（札幌ドーム）は、道民の生活文化の向上に資する施設であることから、建設費の一部に対し助成する。 [補助金交付先：札幌市]					
事業内容：助成総額 100億円を限度 建設時（H10(1998)～H12(2000)）各4億円 償還時（H13(2001)～R13(2031)）各年度 負担額の範囲内					
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	365,000千円	R 5 (2023) 予算額	365,000千円

11	○広域拠点スポーツ施設整備費補助金				
概要	要：本道のスポーツの振興を図るため、広域拠点スポーツ施設として、釧路市が建設した湿原の風アリーナ及び帯広市が建設した屋内スピードスケート場に対し補助する。 [補助金交付先：釧路市、帯広市]				
事業内容：起債償還に対する補助 釧路市（H21(2008)～R5(2023)） 帯広市（H22(2009)～R11(2029)）					
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	51,230千円	R 5 (2023) 予算額	59,559千円

12

○北海道スポーツ表彰経費

概要

要：スポーツの振興に寄与したものと及びスポーツの優秀な成績を収めた者を「北海道スポーツ賞」として顕彰することにより、スポーツを行うものに名誉を付与しその成績をたたえ、道民のスポーツに対する関心と熱意を喚起・高揚し、もって北海道のスポーツの振興を図る。

過去の受賞者数

区 分	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
スポーツの振興に寄与した者	5	4	4	5	4
スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	4	3	4	1	4
スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	—	1	—	—	1
合 計	9	3	8	2	9
特別表彰 スポーツ奨励賞（H20（2008）新設）	3	0	3	1	5

担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	474千円	R 5 (2023) 予算額	474 千円
-----	---------	----------------	-------	----------------	--------

13	○北海道立総合体育センター管理運営費				
概	要：道立総合体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者へ負担金を支出する。 [指定管理者：（公財）北海道スポーツ協会]				
施設概要等					
施設名称	北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日)				
所在地	札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1				
主な施設	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室				
指定管理者	（公財）北海道スポーツ協会				
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027)3月31日（5年間）				
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	333,104千円	R 5 (2023) 予算額	269,621千円

14	○北海道立北見体育センター管理運営費				
概要：道立北見体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者へ負担金を支出する。 [指定管理者：（公財）北見市スポーツ協会]					
施設概要等					
施設名称		北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）			
所在地		北見市東陵町27 東陵運動公園内			
主な施設		アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室			
指定管理者		（公財）北見市スポーツ協会			
指定期間		令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日（5年間）			
担当課	スポーツ振興課	R 6 (2024) 予算額	48,564千円	R 5 (2023) 予算額	48,649千円

令和6年度（2024年度）スポーツ振興関連事業の概要（総合政策部関連）

15	○北海道未来人材応援事業費				
概要 要：本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」等により支援します。					
事業内容 [スポーツコースの概要] ※他に学生留学、文化芸術、未来の匠の3コースがあります。					
1 主な支援対象					
・年齢 北海道在住の18歳から39歳の方					
・対象 3～12ヶ月の海外研修					
・人数 若干名					
2 主な支援内容					
滞在費（定額）		12万円/月又は16万円/月（派遣先地域により変動）			
往復渡航費（定額）		10万円又は20万円（派遣先地域により変動）			
授業料、研修費、入学金等及び大会参加費・機材運搬費		上限30万円			
3 令和5年度（2023年度）実績					
・スポーツコース 3名					
4 その他					
令和6年度（2024年度）の募集要項等詳細は、道ホームページに掲載。					
※予算額は、スポーツコースのほか、文化芸術コース、未来の匠コースを含む額です。					
担当課	国際課	R 6（2024）予算額	9,000 千円	R 5（2023）予算額	9,000 千円

16	○地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）																																				
概要　要：地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取組の促進を図るため、市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む各種事業に対して支援する。																																					
事業概要																																					
<table><tr><td colspan="4">(1) ハード系事業</td></tr><tr><td>交付対象事業</td><td colspan="3">・スポーツ振興事業 （屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業） など※</td></tr><tr><td>交付対象者</td><td>交付対象者</td><td>上限額</td><td>下限額</td></tr><tr><td>交付限度額</td><td>・市町村 ・一部事務組合、広域連合</td><td>1億円 2億円</td><td>500万円</td></tr><tr><td colspan="4">(2) ソフト系事業</td></tr><tr><td>交付対象事業</td><td colspan="3">・スポーツ振興事業（スポーツ振興事業） など※</td></tr><tr><td>交付対象者</td><td>交付対象者</td><td>上限額</td><td>下限額</td></tr><tr><td>交付限度額</td><td>・市町村 ・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等 ・総合振興局長・振興局長が適当と認める者</td><td>500万円 1,000万円 300万円</td><td>50万円 10万円</td></tr></table>						(1) ハード系事業				交付対象事業	・スポーツ振興事業 （屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業） など※			交付対象者	交付対象者	上限額	下限額	交付限度額	・市町村 ・一部事務組合、広域連合	1億円 2億円	500万円	(2) ソフト系事業				交付対象事業	・スポーツ振興事業（スポーツ振興事業） など※			交付対象者	交付対象者	上限額	下限額	交付限度額	・市町村 ・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等 ・総合振興局長・振興局長が適当と認める者	500万円 1,000万円 300万円	50万円 10万円
(1) ハード系事業																																					
交付対象事業	・スポーツ振興事業 （屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業） など※																																				
交付対象者	交付対象者	上限額	下限額																																		
交付限度額	・市町村 ・一部事務組合、広域連合	1億円 2億円	500万円																																		
(2) ソフト系事業																																					
交付対象事業	・スポーツ振興事業（スポーツ振興事業） など※																																				
交付対象者	交付対象者	上限額	下限額																																		
交付限度額	・市町村 ・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等 ・総合振興局長・振興局長が適当と認める者	500万円 1,000万円 300万円	50万円 10万円																																		
担当課	地域政策課	R 6（2024）予算額	4,500,000千円 （地域づくり推進事業分）	R 5（2023）予算額	4,420,000千円 （地域づくり推進事業分）																																

令和6年度（2024年度）スポーツ振興関連事業の概要（保健福祉部関連）

17	○明るい長寿社会づくり推進事業費				
概要	要：介護予防の観点から、高齢者のスポーツ・各種活動の推進組織づくり、社会参加活動の振興のための指導者等養成、仲間づくり支援、老人週間事業を総合的に実施する。				
事業内容	(単位：千円)				
	項 目	内 容	R5(2023)実績		
	高齢者のスポーツ・健康づくり事業	・全道高齢者スポーツ等大会の開催 ・全国健康福祉祭への選手等の派遣	・10種目実施、参加者655人 ・17種目派遣、派遣者数99名		
	地域活動等推進組織づくり事業	地域活動を推進するための組織づくり	・自主活動8事業への支援		
	高齢者の社会活動の振興のための指導者育成事業	高齢指導者（シニアリーダー）の育成	・60名の指導者登録 ・リーフレット作成、配布		
	老人週間事業	・全道高齢者作品展の開催 ・老人週間啓発事業（パネル展の開催）	・来場者延べ763名 ・来場者延べ179名		
担当課	高齢者保健福祉課	R 6 (2024) 予算額	25,162千円	R 5 (2023) 予算額	25,162千円

令和6年度（2024年度）スポーツ振興関連事業の概要（経済部関連）

18	○北海道アウトドア活動振興環境整備事業費														
概要：アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営や、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。															
事業内容															
○ アウトドアガイド資格等の認定登録・管理															
・ 資格認定証書等の作成・交付															
○ 資格制度の運営管理															
・ 資格制度推進委員会の開催、ガイド意見聴取等															
○ 資格制度の普及PR															
【R5年度実績】															
・ 資格認定等															
<table><tr><td>区 分</td><td>件 数</td></tr><tr><td>アウトドアガイド資格新規認定</td><td>48件</td></tr><tr><td>アウトドアガイド資格更新認定</td><td>116件</td></tr><tr><td>アウトドアガイド検定合格認定</td><td>28件</td></tr><tr><td>アウトドア講習修了認定</td><td>134件</td></tr></table>						区 分	件 数	アウトドアガイド資格新規認定	48件	アウトドアガイド資格更新認定	116件	アウトドアガイド検定合格認定	28件	アウトドア講習修了認定	134件
区 分	件 数														
アウトドアガイド資格新規認定	48件														
アウトドアガイド資格更新認定	116件														
アウトドアガイド検定合格認定	28件														
アウトドア講習修了認定	134件														
担当課	観光振興課	R6(2024) 予算額	339 千円	R5(2023) 予算	368 千円										

令和6年度（2024年度）スポーツ振興関連事業の概要（教育庁関連）

19	○学校スポーツ振興事業費					
概 要：学校スポーツ活動の普及促進を図るため、運動部活動における各種大会等に参加するための教員引率旅費を措置するとともに、全道大会の開催費について補助を行う。						
事業内容 (単位：千円)						
区 分			事 業 内 容	予算額	R5(2023)実績	
全国大会	生徒引率旅費	中体連	・参加生徒の引率教員旅費	22,222	全国大会引率105校148人	
		高体連		16,418	全国大会引率53校78人	
		(総合体育大会)				
		高体連		4,658	全国大会引率23校36人	
地区大会	生徒引率旅費	(選抜等大会)	・参加生徒の引率教員旅費			
		定体連		1,289	全国大会引率10校14人	
		全盲体連		329	全国大会引率1校4人	
全道大会	開催費	中体連	・全道大会開催費の補助	9,297		
中体連		470		全道大会開催費補助470千円		
高体連		582		全道大会開催費補助582千円		
		定体連		100	全道大会開催費補助100千円	
担当課	健康・体育課		R 6 (2024) 予算額	55,365千円	R 5 (2023) 予算額	53,191千円

20	○学校体育推進事業費				
概要：中学校の武道必修化を踏まえ、安全かつ効果的な授業の充実を図るため、外部指導者の派遣等を行う。					
事業内容					
区 分		目 的	事 業 内 容	R5(2023)実績	
武道等指導推進事業 ～国委託事業		・平成24年度（2012年度）から武道及びダンスが必修となったことから安全管理、指導体制の充実を図る ・武道授業における複数種目の実践など指導の柔軟化の実践研究を通じた武道指導の充実 ・中学校における武道等の授業を安全に行うために、外部指導者等を派遣し、安全で効果的な授業の充実を図る	・武道振興協議会及び武道講習会の実施 ・武道指導推進モデル校の指定 ・町道場等から学校へ外部指導者派遣	・武道振興協議会の開催 ・武道講習会の開催 ・地域の指導者の派遣 柔道等3校 延べ4人	
担当課	健康・体育課	R 6 (2024) 予算額	3,876千円	R 5 (2023) 予算額	6,909千円

21	○学校・家庭・地域の連携協力推進事業費（放課後子供教室）					
概要：放課後や週末等に全ての子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、学習や体験活動の機会を提供することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。						
事業内容（単位：千円）						
実施主体		項目	事業内容等	補助率	R5(2023)実績	
市町村	放課後子供教室の実施	全ての子どもを対象に活動拠点を提供		国1/3以内 道1/3以内 市町村1/3以上	実施市町村・教室数 （政令都市、中核市除く） ・64市町村 139教室 対象学校 〔小学校191校 中学校15校 義務教育学校2校〕	
	放課後子供教室の備品整備	開設備品（カーペット、テレビ、机等）の整備				
	コーディネーターの配置	学校、保護者、その他関係機関との調整（児童ケア等との調整）				
	運営委員会の実施	事業計画、安全管理方策、実施後の検証・評価等（児童ケア含む）（構成員：行政、教職員、児童ケア関係者、PTA、地域住民等）				
北海道	推進委員会の開催	放課後対策の総合的な在り方等を検討（構成員：道教委、保福部、教職員、学識経験者等）		国1/3 道2/3	年12回開催 道内12会場 参加者1,869名	
	指導者研修の実施	コーディネーター等への研修の実施				
担当課	社会教育課		R6(2024)予算額	38,980千円	R5(2023)予算額	43,312千円

22	○学校部活動の総合的な支援体制構築事業費																				
<p>概要：教員の負担軽減及び部活動指導体制の充実を図るため、学校部活動に地域の外部人材などの部活動指導員を配置するとともに、指導方法の研修などを実施する。 また、市町村や地域との連携体制の構築と部活動の地域移行における課題解決に向けた実践的な調査研究を行う。</p>																					
事業内容																					
(1) 指導員配置 (単位：千円)																					
<table><tr><th>区 分</th><th>概 要</th><th>予算額</th><th>R5 (2023) 実績</th></tr><tr><td>部活動指導員の任用</td><td>・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施</td><td>道立学校：26,270 中学校：17,698</td><td>部活動指導員配置実績 ・道立学校：126校 233部活動 234人</td></tr><tr><td>指導の充実に係る研修</td><td>・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施</td><td>503</td><td>・中学校：21市町 53校 86部活動 91人</td></tr><tr><td>専門家による意見交換</td><td>・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定</td><td>269</td><td></td></tr></table>						区 分	概 要	予算額	R5 (2023) 実績	部活動指導員の任用	・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施	道立学校：26,270 中学校：17,698	部活動指導員配置実績 ・道立学校：126校 233部活動 234人	指導の充実に係る研修	・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施	503	・中学校：21市町 53校 86部活動 91人	専門家による意見交換	・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定	269	
区 分	概 要	予算額	R5 (2023) 実績																		
部活動指導員の任用	・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施	道立学校：26,270 中学校：17,698	部活動指導員配置実績 ・道立学校：126校 233部活動 234人																		
指導の充実に係る研修	・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施	503	・中学校：21市町 53校 86部活動 91人																		
専門家による意見交換	・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定	269																			
(2) 調査研究																					
<table><tr><th>区 分</th><th>対 象</th><th>事業内容</th></tr><tr><td>部活動地域移行モデル</td><td>市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等</td><td>○運動・スポーツ等の体験イベントを開催し、民間企業との連携や指導者の確保等の実証を行う。 ○成果報告会を開催し、全道へ成果を普及し、地域移行に向けた市町村の取組を促進する。</td></tr><tr><td>検討会議</td><td></td><td>○実証事業の成果を踏まえ、市町村、スポーツ協会、民間企業等が情報共有しながら地域移行に向けた課題解決の方向性を検討する。</td></tr></table>						区 分	対 象	事業内容	部活動地域移行モデル	市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等	○運動・スポーツ等の体験イベントを開催し、民間企業との連携や指導者の確保等の実証を行う。 ○成果報告会を開催し、全道へ成果を普及し、地域移行に向けた市町村の取組を促進する。	検討会議		○実証事業の成果を踏まえ、市町村、スポーツ協会、民間企業等が情報共有しながら地域移行に向けた課題解決の方向性を検討する。							
区 分	対 象	事業内容																			
部活動地域移行モデル	市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等	○運動・スポーツ等の体験イベントを開催し、民間企業との連携や指導者の確保等の実証を行う。 ○成果報告会を開催し、全道へ成果を普及し、地域移行に向けた市町村の取組を促進する。																			
検討会議		○実証事業の成果を踏まえ、市町村、スポーツ協会、民間企業等が情報共有しながら地域移行に向けた課題解決の方向性を検討する。																			
担当課	部活動改革推進課	R 6 (2024) 予算額	54,250千円	R 5 (2023) 予算額	43,808千円																

23	○部活動の地域移行支援事業費										
概要：中学校における休日の部活動の地域移行に向け、地域におけるスポーツ団体等の整備、指導者確保等の取組に関する実践研究を実施する。											
事業内容											
<table><thead><tr><th>区 分</th><th>項 目</th><th>事 業 内 容</th></tr></thead><tbody><tr><td>地域スポーツクラブ活動体制整備事業（スポーツ庁委託・補助事業） 地域文化クラブ活動体制整備事業（文化庁委託・補助事業）</td><td>部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業（委託） 中学校における部活動指導員の配置支援（休日分）（補助：国1/3、道1/3、市町村1/3）</td><td>○市町村にコーディネーター（アドバイザー）を派遣し、地域移行に向けた検討を促進 ○実証地域における地域クラブ活動の運営団体の整備充実、指導者配置支援、参加費用負担支援等の実践研究 ○中学校における部活動指導員の配置支援</td></tr></tbody></table>						区 分	項 目	事 業 内 容	地域スポーツクラブ活動体制整備事業（スポーツ庁委託・補助事業） 地域文化クラブ活動体制整備事業（文化庁委託・補助事業）	部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業（委託） 中学校における部活動指導員の配置支援（休日分）（補助：国1/3、道1/3、市町村1/3）	○市町村にコーディネーター（アドバイザー）を派遣し、地域移行に向けた検討を促進 ○実証地域における地域クラブ活動の運営団体の整備充実、指導者配置支援、参加費用負担支援等の実践研究 ○中学校における部活動指導員の配置支援
区 分	項 目	事 業 内 容									
地域スポーツクラブ活動体制整備事業（スポーツ庁委託・補助事業） 地域文化クラブ活動体制整備事業（文化庁委託・補助事業）	部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業（委託） 中学校における部活動指導員の配置支援（休日分）（補助：国1/3、道1/3、市町村1/3）	○市町村にコーディネーター（アドバイザー）を派遣し、地域移行に向けた検討を促進 ○実証地域における地域クラブ活動の運営団体の整備充実、指導者配置支援、参加費用負担支援等の実践研究 ○中学校における部活動指導員の配置支援									
【R5年度実績】 部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業（委託）19市町村 市町村が実施する地域移行に向けた体制構築事業等への支援（補助）37市町村 中学校における部活動指導員の配置支援（部活動）21市町村											
担当課	部活動改革推進課	R6（2024）予算額	284,396千円	R5（2023）予算額	165,038千円						

24	○高校生心身強化セミナー事業費				
概要　要：スポーツを頑張るすべての高校生のために、自宅等で取組可能な「心身の強化」に関するセミナーを開催することにより、部活動への意欲向上や個人の能力向上を図る					
事業内容					
区　　分		目　　的	事　業　内　容		R5(2023)実績
セミナー開催		・高校生が自宅等で取組可能な「心身の強化」に関するノウハウの提供	・道内の高校生に対し、身体のケア、身体づくり及び精神面強化に関するセミナーを各管内で開催 ・不参加生徒のためセミナー内容を動画で公開		・セミナーの開催4カ所 ・参加者371人
担当課	健康・体育課	R 6 (2024) 予算額	1,500千円	R 5 (2023) 予算額	5,764千円

25	○学校体育振興費（令和6年度全国中学校体育大会全国中学校アイスホッケー大会開催費補助金）				
概要：令和7年1月下旬開催予定の令和6年度全国中学校体育大会第45回全国中学校アイスホッケー大会に対する補助					
事業内容					
目的	中学校教育の一環として、生徒に広くアイスホッケー競技実践の機会を与え、心身ともに健康な生徒を育成するとともに、生徒の相互の親睦を図る				
主催機関	日本中学校体育連盟、日本アイスホッケー連盟、北海道教育委員会、帯広市教育委員会				
期間	令和7年1月下旬～2月上旬（予定）				
会場	帯広市（帯広の森アイスアリーナ、帯広の森第2アイスアリーナ）				
参加人数	選手300名、監督・コーチ50名、大会役員等110名				
【R5年度実績】 （R5開催地）東京都（西東京市・東大和市）					
担当課	健康・体育課	R6(2024)予算額	1,000千円	R5(2023)予算額	—

26	○学校体育振興費（令和6年度全国高等学校総合体育大会スキー大会開催費補助金）				
概要：令和7年2月開催予定の全国高等学校総合体育大会第74回全国高等学校スキー大会開催に対する補助					
事業内容					
目的	高等学校教育の一環として、技能の向上とアマチュア精神の高揚を図り、心身ともに健康な高等学校生活を育成するとともに、生徒の相互の親睦を図る				
主催	（公財）全国高等学校体育連盟、（公財）全日本スキー連盟、北海道、北海道教育委員会、釧路市、釧路市教育委員会、名寄市、名寄市教育委員会				
期間	令和7年2月上旬～中旬				
会場	釧路市、名寄市				
競技	アルペン競技（釧路市）、クロスカントリー競技、ジャンプ競技（ともに名寄市）				
参加人数	選手1,000名、監督・コーチ300名、大会役員等200名				
実施種目	男子～アルペン（GSL、SL）、クロカン（10km(クラシカル、フリー)、リレー）、ジャンプ（SJ、NCJ）				
	女子～アルペン（GSL、SL）、クロカン（5km(クラシカル、フリー)、リレー）、ジャンプ（SJ、NCJ）				
【R5年度実績】 （R5開催地）富山県（富山市他）					
担当課	健康・体育課	R6(2024)予算額	4,000千円	R5(2023)予算額	—

令和6年度（2024年度）スポーツ振興関連事業の概要（振興局）

27	○スポーツを通じた来訪促進事業（上川総合振興局）				
概要：管内の積極的なスポーツ振興の動きと冷涼な気候等環境面に加え、地元プロスポーツチームと連携した施策を展開し、合宿誘致等のPRを行い、来訪促進を図る。					
事業内容					
目 的		事 業 内 容		R5(2023)実績	
管内の積極的なスポーツ振興の動きと冷涼な気候等環境面を活かした合宿誘致を推進するPR等を通じた来訪促進		・ 合宿等のPR活動の展開 ・ ヴォレアス北海道によるバレーボール教室実施 ・ 地域に根ざした独立リーグチームによる野球教室実施 ・ 上川エリアモニター合宿事業の実施		・ R6.3 JOCジュニアオリンピックカップ会場で動画等によるPR ・ R5.10開催 参加者約50名 ・ R5.8 開催 ・ R5.7 開催 参加者約20名	
担当課	環境生活課	R 6 (2024) 予算額	1,634千円	R 5 (2023) 予算額	1,702千円